

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371100849
事業所名	グループホームなごみの里

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入している。 散歩時での挨拶声掛けなどして交流している。地域の方から野菜などの作物の差し入れなどがある。 行きつけの喫茶店（月2度ほど）での交流、なじみの関係作りがある。 地域の避難訓練、敬老会への参加、交流がある。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 家族、民生委員、老人会、いきいき支援センターなどの出席で、報告、要望の収集、意見交換などしている。 感染症への対策、地域の（ひまわり）子供から、老人までの集う会への参加への促しがあり、参加している。 推進会議委員の民生委員、老人会の方たちからの提案で施設への慰問を受け入れている。	評価	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 防災講習会、感染症の研修会などに参加している。 グループホーム、特養などの区の会への出席がある。 市の事業者講習会、いきいき支援センターの認知症サポーター養成講座などへの参加がある。 区の生活保護担当者との連絡、相談、市の介護保険課との事故報告、連絡相談がある。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 意見箱の設置。 「おたより」の毎月の発行で日常の様子、行事の連絡などしている。 家族の施設への訪問時などでの、連絡、要望などのくみ取り、ケアへの反映をしている。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。		○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。		○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。		○
総合評価			○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	○		